東京のコロナ感染、1月後半に第2のピーク 民間予測

#新型コロナ #東京 #地域総合

2023/1/11 20:00 [有料会員限定]

CATsコロナ感染予測（11日）

金融情報会社QUICKが11日公表した新型コロナウイルス感染拡大「第8波」の「動的予測」（午後6時時点）によると、7日移動平均でみた東京都の感染者数は1月後半に第2のピークとなる見通しだ。ピーク時の感染者数は移動平均ベースで最大1万9000人程度になるとみている。民間の研究チーム「CATs」が予測した。

第8波は2022年12月末に最初のピークを迎えたが、正月休みなどで検査数が抑えられた。休み明けに再び感染者が増加傾向となり、今後第2のピークを形成する見通しだ。11日時点の予測では移動平均ベースで1月16～23日が第2のピークになるとみている。

動的予測は日々の人流やSNS（交流サイト）に投稿される市民の心理、季節によって変わるウイルスの感染力や変異状況など多くの要素をビッグデータとして分析する。最新のデータを使い、日々更新するのが特徴だ。

第7波ではピーク時の感染者が一時4万人を超えた。現時点で予測される感染状況なら、第8波は日常生活を継続しながら乗り切れる水準とみられる。 11日の東京の新規感染者数は1万6772人で、前週より6218人増えた。（QUICK）

◆グラフの見方

折れ線グラフ下に表示している面グラフは東京都のモニタリング会議がまとめた派生型の比率を示す。折れ線グラフの上下に伸びた棒グラフは、その日の新規感染者数で、月曜日は感染者が少ないなど曜日によって特徴がある。折れ線グラフの上部にある赤やピンクの棒グラフは「増加加速」「減少鈍化」など、その時の感染状況を示している。